夕刊
磐城新聞
十月十一日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇六•五八五番

天氣豫報

小名濱測候所觀測

今晩は北の風曇小雨模様
明日は北西の風曇後晴

秋草の花（一）

國玉喜輝

一、はぎ

『人に知られず咲いては散れど、深山櫻も花の中』と春月がうたつて居るが、深山櫻に限らず、りんどうでも、はぎでも、桔梗でも、人知れず、野に咲き、散つて行く花々を、そんな風、讃へてやりたい。

さうした花らの、人知れぬ營みは、とも角精一ぱいだ。はぎなど、うすぼけた樣な淡々しさで、ふと見ただけでは、花ざかりやら終りやら分らない樣だが、またそれだけに、てらふ氣もなく、誇る色もなく、さびしく愛すべき花である。道に溢れ群がり咲いても、眼を奪ふ程の華麗さがなく一枝一枝がそのつゝましい花ざかりをむなしく過して行く。徑の上にポロ〳〵と散りこぼれても踏み行く人に、それ程の顧慮も愛惜もそゝがれない。だがお月見に、萩を思ひ出させ、秋の七草の一つに數へて、忘れがたいものにしてくれた古人の、こころのゆかしさを有難く思ふ。一つ家に遊女も寢たり萩と月と、芭蕉も問まれた一夜の思ひ出草の一句を殘して居る。

精一ぱいのことをして、悔なければ、どこかでいつか誰かに認められることがあらうも知れぬときびしく自らを慰さめる事も覺ねて來て、何かしら、かうした花などに心惹かれる此の頃の私だ。かうした感傷は、今時流行らず、だん〳〵と殘されて行く時代の遺物とはあるが、案外に萩の小さな、しかし精一ぱいの努力が、秋、野のおのづからしみ出す秋のいろに大きな意義ある存在價値をもつて居るかも知れないと思ふのである。

二、あかのまんま

犬蓼の花と云ふよりも、赤のまんまと云つた方が、誰にも分るし、なつかしいひびきがあつていゝ。或る幼稚園で、何になりたいかと云ふ『將來の希望』を書かせたところ、面白いことには、女兒の大部分が、およめさんであつたさうである。何と云ふ可憐なすこやかなのぞみだらうかと、ほゝゑまれてくる。

それから、オカアサン、カンゴフ。男の園兒は、ヘイタイ、タイシヨウ。などの多いのは、時局の影響するところであらうけれど生活的に、いつも現實に直面する男性の氣持が、既にひらめいて居る。女の兒らが、あかのまんまをきり刻んでままごとをして居るところを行ずりにでも覗いて見ると、その誰かは、オヨメサン、オカアサンで、中にはあたしもお母さんよなどと二三人、お母さんになりたくなつてしまふ兒が居たりする。

オカアサンつて、そんなにも、子供たちにはいいものに思はれるのである。それは、現實面に觸れたよ[illegible]であるが、オヨメサンは別な意味で、子らの美への憧憬を強める魅力を十分にもつて居る。烏羽玉の黑髮大きな文金高島田、金襴緞子の帯、緋毘子、金銀の[illegible]どりお人形の樣な美しいひの顔、ピカ〳〵として美しくチャラ〳〵と歩くたびに何か衣ずれやら、髮飾やらそれとも木履の鈴やらが鳴るのである。

雜詠

加納小郭家

○我眉に近々と立つ朝紅はうつゝのものにあはれ尊し

人に寄す

○阿波藍の間引細菜を酢にひでゝ汲みけむ酒が懷き思ひ出

○廣重の版畫鳴門の額を吊り戀ひわたる阿波の國遠きかな

舊友

○我が消息月々に知ると告げこしぬ其子がアララギに勵みをりとて

日常

○夕立の降りそびれたる雲昏れて十日ばかりの月吐けるかな

○妻子らをシネマにやりて所在なく夜おそくラムネ三本のみぬ

○身じろくたびラムネののみながらが音立つる留守居の夜の裸冷えぬ

豫言（4）

哲名山人

この點につき大になすところあらんとし會津出身の故新城新藏博士（前京大總長、天文學のオーソリティ）は夙に上海東洋文化科學研究所をたて主として東洋的天文學につきて飛躍せる折柄物故せられたのはかへす〳〵も遺憾である。

天災豫知については氣象學者、天文學者、地震學者農事試驗場等々の科學的方法による天災豫知や防法も相當發達してゐるが然しそれらによつて安心出來ないことは近年の苦き經驗が物語つてゐるのである、例へば大正年間より今日迄我國の天災[illegible]ゐて其損害額は[illegible]である、本年のみでも二十億萬圓を超えてゐるといはれる、この間に於ける天災事變等をみると、文永、弘安（我國が外國より窺はれたるは此二回のみである）の鎌倉時代に酷似してゐるのである。かの日蓮上人が立正安國論に蒙古襲來を豫言（九年前）したことはあまりにも有名である、昔は不祥事のおこる度に、よく改元せられたものである、立[illegible]る國論を草せられた時代は五度[illegible]つゝある、即ち建長年間を經て康元から正嘉へ正嘉から正元へ、正元から文應へ、文應から弘長へと移つてゐる、

その句〳〵

○

お會式や腰にさげたる替草鞋　柳芽

贈永山渡邊村長　珠雲　小野務平

不怪聲譽遐邇喧
恭謙勁節定推尊
當年率象神前誓
經濟隆々起一邨

10月12日

△松尾芭蕉歿（元祿七）△青木昆陽歿（明和六）△阪神地方の防空演習初まる（昭和一〇）

講談 隱密小天狗（おんみつこてんぐ）

(147)　中川雨之氏作　近藤[illegible]氏畫

名乘れぬ父

その時の綾瀬圭之助の[illegible]

『それは、一段の見もの[illegible]をついて詫もしようが、だが、武士の魂を蘇らすなんて、下素女にはちと荷物が重過ぎようぜ。鶉じやないが鶉の眞似をして、水に溺れぬやうにな、はゝゝ』

『下素女とはお情ない。わたしも武士の娘でござります』

『なに、武士の娘、これは聞き處ぢや、その仔細、では一と通り拜聽しようか』

俺まで愚弄するけい之助であつた。

『私の父は、東北筋の、由緒正しい武士でござります……』

と、小夜美は云つた。

『ほゝう、東北の武士、それは何藩の、何といふ御仁かの』

とまた嘲弄するやうなけい之助の語調である。

『それは、分りませぬ』

哀しさうに、小夜美は、聲を顫はせた。

『分らぬ、はゝゝ大方。さうでもあらう。どうせ出鱈目だから』

『まあ、そのやうな慘い事を』

口惜さで、ちつと唇を嚙みしめたが。武士の胤に相違ないといふ證據でも無い限り、小夜美は相手の嘲笑を、破ることはできなかつた。

『はゝゝゝ、下らんことで、可惜ら暇を潰した。爺よ、然らばぢや』

けい之助は、さつさと歩き出した

『あつ、けい之助さま』

驚いた嘉助の聲をあとに向ふの櫻並樹の蔭に、その後姿が消えて居た。

小夜美は、しく〳〵泣いて居る。

何といつて慰めようかと嘉助は、ちよつと困つた。

『爺や』

『はい』

『どうして世の中は、わたしにばかり、こんなに冷たいのだらうねえ』

『お察し申します』

その主從の、悄々とした姿も亦圭之助とは反對の方の、土手の彼方へ消ねて行まつた。

すると、土手の下から、編笠に、顏を包んだ武士一人。釣竿と魚籠とを提げて登つて來た。

爪足立てゝ、小夜美の後を見送りながら、意外にも編笠の小さく搖れるのは、どうやら泣いて居るらしい

その筈である。それは、名乘ることのできぬ小夜美の父、柴田三郎兵衞であつた。

それが、小夜美と圭之助との爭ひを、思ひがけない夜釣の歸りに見たのである。

『娘よ暫らくの辛抱だ、俊作を救ひ出して、必ず、そちの手柄にさせて遣るぞ。それが、無情な父のせめても詫だ』

肺腑を絞る獨り言である穢場の小屋の俊作救ひ出しに失敗して以來正雪屋敷の穴牢に押籠めの彼を見るにつけ、とても平氣では居られぬ郎三兵であつた。

俊作を救ふには一黨を裏切らねばならず。一黨に殉ずるには、俊作を見殺しにせねばならず、彼は日毎に義理と恩愛の岐路に立つて心が惱んだ。

その憂を、忘れようと、昨夜夜釣の一竿に、暫らく惱みから脱れることが出來たが、まゝた、と思ふ甲斐もなく、いまた、親無き故に苦しむ小夜美の、慘めな姿を目の前に見て惱みは更に深まつたのである。

しかし、いまの出來事では、彼の心はどうやら俊作救助に傾いたのであつた。

やがて、街の方へ歸り始めた彼如何なる策を胸に秘るのか？緩やかな一歩づつゝ踏んで行く。

耳鼻咽喉科 専門
平市南町一六番地
大和田醫院
（入院隨意 病室完備）
電一七〇番

田毎の
御志るこ
御ぞうに
支那そば
電話六三二番

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

一、公債、株式、債劵現物賣買
株式は一株より
債劵は一枚より
弊店儀開店未だ日淺きにも不拘、業務日に順調に運ばれ候擧は是れ皆様方の御後援の賜と感謝仕り候、尙此後とも一層御引立被下度御願申上候。
敬白
福島縣平市田町二十五番地
㊓ 株式店
電話三六五番

磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊羹（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
製造發賣元 平屋賣店
小川郷驛前

故障の起らぬ
原口のラヂオ
ラジオで聽こう。時局ニース
ラヂオは是非――
専門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

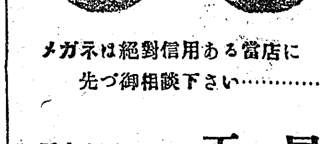
平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
内臓外科・一般外科・皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科・物理的療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄・夜間診療ニ從ズ（急患ハ此ノ限リニアラズ）

和洋
建具 家具 テーブル 椅子……
其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します。
諸官衙 各學校 御用達
製作販賣
平市五丁目四
㊎ 片寄製作店
片寄小彌太
電話四八四番
十五、六歳見習職工 職工募集

男女學生服
大特賣
高島屋の洋服
廣背柄新 レンコート
品製既ニ並文注
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

晝 夜 診療
外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
（血液檢査毎日）
◎入院隨時
平市新川町（電四六四）
醫學博士 北川芳夫

メガネ専門の店



メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目 玉屋

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

無競爭の有難さ 秋を微笑む快朗選擧
愈よ明日所得税調査員本極り

非常時下の自粛氣分から公明正大な、無競爭裡に行はれた所得調査委員選擧乍ら各自の得票は之亦所謂選擧ファンの興味を唆つて各候補及び之を繞る關係者は勿論、其他の方面でも例の町村別得票一覽表を作り判明した分から次々と記入して行き、落選※無い戰爭に似合はせず、それでも些か逐鹿氣分のピッチを上げた。全有權者千四百七十九名中五百九十一名の多數を占めて管内隨一の激戰地(?)たる平市の得票は

調査員
一三九票　柏原幸次郎
一一七　阿部政右衛門
一〇三　野崎　滿鐵
六七　渡邊　貴一
一六　近藤　吉松
一一　小野　晋平
二　菅天目信治郎

同補闕員
一五二　猪狩　庄平
一三一　大嶺　庫
五七　岡田　千藏
五〇　吉田喜三郎
二一　樫村　富保
四　吉田　恭平
三　古川　慶福

で昨日中平、內鄕、江名、磐崎、湯本、飯野、赤井、豐間、小名濱、永戸、高久、好間、玉川、鹿島、小川が判明し今十一日は朝來鄕便に態夫に着々税務署へ報告が入つて居る。明日午前中書類を整理の上同日午後一時から選擧會を開くこと數報の通りである

當選お禮も連名か
兩派の協調に終始す 所謂委員選擧

所得調査委員同補闕員は愈よ明十二日平税務署に於ける選擧會に於て正式決定さるるが、右當選に關しては當選禮狀の發送其他別段の限無きも時局に鑑みて最初から無競爭を以て終始し而も推薦狀なども民、政兩部會が合同の下に全有權者に呼びかけた等の趣旨に則り當選御禮も個々に發する事なく之亦兩派の連名にて差出し無用の失費と煩瑣とを避くるものと觀られてゐる

棄權者多數 實に二割以上

有權者數男女五百九十一名の平市に於ける投票數は調査委員四百五十五票、補闕員四百十八票で棄權は前者が百三十六票で二割三分、後者が百七十三票で二割九分强と云ふ莫大な棄權率を示してゐるが右は投票の向背を決し得ぬ女の有權者などに多かつたものと觀られてゐる

潮流好轉す 秋刀魚に快報

季節ものの秋刀魚は潮流異變によつて一寸氣遣はれてゐたが十一日朝小名濱水試に入つた磐城丸からの無電によると十日夜來潮流も好轉して漸次有望視されるに至つた

磐城丸は目下金華山東北東三百八十哩の沖合にあるが既に六萬匹を、日本丸は三十萬匹を捕獲してゐる

あす方面委員大會

縣下方面委員大會は愈よ明十二日市公會堂に開くが出席は和田學務部長はしめ※員、其他關係者九百餘名に上ると

總報順序によつて會議を進め十三、四の兩日は出

席委員のため一般希望者を加へ非常時下社會事業講習會を開く

空樽暴騰す 公定價格設定陳情

平地方の醤油九升入れ空樽は需要の急增と共に今月に入つて約倍額となり業者並に一般需要家も少からず困つてゐるがこの情勢を奇貨として暴利を貪るものもあるらしいのでこれが公定價格を設定されたいと磐城醤油釀造業、味噌製造販賣兩組合を代表し山崎組合長から十日平市を通じ君島知事に陳情した

從業員採用試驗

平職業紹介所では來月一日午前九時から平第一小學校に日本鋼管株式會社從業員採用試驗を執行する、年令十八才以上三十五才迄の尋小卒以上のもの

0

尙來る二十七日午前九時から同校で某從業員採用試驗も行ふ

暑い十月の太陽
近頃の氣紛れ陽氣 秋晴連日稻穗は膨れる

神無月も既に中旬に入つた昨今眞夏を想はせる樣な高温は今ぎでは凌ぎ兼ねる位であるが、けふ市內の温度は室內で二十四度五分（七六・一）水銀柱から觀ると驚く程の上昇振りでも無いが何せ朝夕が滅切り涼しくなつて折柄丈けに日中の暑さが比較的感度鋭く汗ばませるものであらう。稻穗は膨れて秋晴連日、昨今に於ける氣候の若返りは今やキャンデー屋の復活を啖つて稀な氣紛れ陽氣は折角準備を整へた袷の出番を拱いてゐる

。。。。。。赤井農事座談會　赤井村

高萩農畜貨物組合では十七日午後一時から組合長宅に米、大麥に關する座談會を開く、吉成郡駐在技手出張

蓮沼社長京城滯在 昨朝八時安着

去る八日東京驛を出發した蓮沼本社長は昨十日午前八時京城安着、九時からの全國都市問題協議總會開會式に臨んだ。十四日からは全國水道會議が開かれ之に出席の上皇軍慰問、産業視察の旅程に上る筈

北畠卿奉賛の兒童作品展
市內三校出品決る

市教育部會では二十一日から三日間福島に開かれる北畠卿六百年祭奉賛縣下兒童圖畫、書方展覽會に左記兒童作品を出陳

△書方（第一校）一年小原俊男　同市原瑛郎　二年薗部昭雄　三年篠原滿　四年齋部武久、同柴田章夫、五年長谷川直義、同根岸乾雄、六年釆田孝一　同小野健二郎　高一山崎文平　同二遠藤俊男（第二校）一年山崎弘子　二年宮川尙子　同田卷佳代子　三年高野光子　穴井美子　四年齋藤英子　五年三井正子　橫山ケイ子　六年草野トシ子　鈴木智惠子　高一　廣瀨義子　同岡野アイ（第三）一年吉野和彥　涌井智子　三年大谷富雄　同坂本昭子　三年丹野信男　鈴木圭子　四年川又常治　鈴木光子　五年田口光男　鈴木千代子　六年吉田正治　相澤喜代子

△圖畫（第二）一年菊地淳　二年靑山秀哉　三年松野尾宣之　四年鈴木久一　五年渡邊與一　六年佐々木三雄　色川光吉　高一齋藤博　同二黑木常吉（第二）一年松崎ツチ子　二年鈴木和子　五年高木和子　高一淸野月小夜（第三）一年鎌田克己　味香尙子　二年齋藤京子　芳賀平次　三年郡司一　四年猪狩セツ子　五年網代嘉一　永山智子

＋　＋　＋　＋

陣中を聽く
(260)

前途は尙ほ遠いと 將兵一同張り切る
二丁目出身 田卷重三君（通信）

朝夕めつきり冷氣を覺ゆる候となりました。懷しき故郷の皆樣お機嫌ようございます、熱誠溢るゝ銃後の御後援感謝の外ありません其後思ひ乍らも御無沙汰致しお申し譯ありませんです。

お陰樣にて私相變らず身心共に元氣で居りますから吳々も安心下さい。

○月以來づつと當方の山岳地の酷暑と執拗なる頑敵と戰つて居りました、或は八月二十四日前後に亘り猛烈に流行を極めたコレラ病幸ひ今日斯らして元氣でありますは神佛の加護は勿論誠心よりなる皆々樣の熱誠なる御後援を深く信じて居る次第です。戰ひも第三段戰に入り我が部隊にも○支より○支へ（略）○月○日汽車輸送にて臨汾を發して正定城に到着ここにて十四日間の休養を受けこの間人馬の補充、兵器具の充實をなし次の行動に備へました。

昨二十日絶へて久しい家鄕の皆樣からの通信と慰問品を一度にどつと落手致しました。さきに御發送下さいまし御丁重なる慰問品確かに頂戴致しました、何とお禮を申して良いかお禮の言葉もありませんです。段々何となく目頭が熱くなるを覺ゆるばかりです、早速甘いものは戰友に少しづつ配け與へその喜びを共に致しました。

重ねて厚く御禮を申し上げます、皆々樣へ宜敷お傳へを願ひます。

廿四日以後正定を發し北京、天津、濟南經由の上到着の豫定になつて居ります。其後の行動は不明にて多分（略）に備へての待機かと二つの一つと噂されて居ります。漢口陷落後と雖も蔣政權は飽く迄抗日戰を續けるよう豪語して居りますから戰ひは未だ〳〵長期に亘ることゝ存じます。戰地將兵一同皆々の覺悟で張り切つて居りますから銃後の皆々樣御安心なすつて下さい。北支戰線只今好天氣續きです。氣候は良し身体は强健氣は晴朗、益々威力發揮の秋です。平出身二名慕の內の鈴木正※君と僕です。

九月二十一日

〜◇〜

出征家族萬歳
高久二毛作品好成績

高久村農會では此程水田二毛作品評會を開いたが出品三十餘點、このうち入賞十餘點は松本作次さん外殆ど出征勇士の家族によつて占められた、銃後手不足の折角かくも好成績を示した家族の意氣込みは村當局を少からず感動せしめた

磐中に新劍道教師 渡部徹練士着任

磐中劍道部では遂に技倆優秀而も熱の人として生徒の信望をあつめてゐた三浦敎諭の引退後之亦全校一の高段者たる敎諭多田文學士により熱心指導を續け部員の進境見るべきものあつたが同敎諭も過般某方面の任務に就くに至つたので、最近全く指導者を失ひ部の將來を懸念されてゐたが今回新進の渡部徹氏を專門教員として迎へたので部員一同大に張り切つて一段の練磨に精進し初めたとの事である

皮革代用靑鮫漁準備

菅原日食小名濱工場長は前任地氣仙沼に於て最近素晴しい勢ひで擡頭してゐるキリヨシ（靑鮫）代用の皮革製造を地方に普及せしむるため目下このキリヨシの配繩漁業發展策について種々研究を進めてゐる將來はキリヨシ漁の餌も常備して他地方漁船の廻航に便ならしめ皮革製造所の設定も實現もはかりたい意氣込みである

清潔法日割

平市の秋季清潔法日割は左の如く變更

十月十八日（舊平窪全部）

二十日（平署以東）二十一日（同以西）

。。。。。木炭出荷協議會

濱三郡木炭同業組合では十六日午

山間の凶作地帶も 畧ぼ平年作か
稻穗に漂ふ秋の歡び

郡下の稻作は既報の如く場所により若干減收の豫想或は平年作確實の觀測が行はれ秋風渡る稻田の上には總る秋の歡びがただようてゐる。こゝ數日に亘り三阪、澤渡、永戸其他の山間方部を一巡した郡駐在吉成技手の曰く

―春以來の不順天候に加へ前後二回の時化により夏の頃は一部に凶作の悲觀も行はれたが其後恢復して今じは殆ど平年作にはこぎつけやう

同技手は今十一日川前方部の稻作狀況を視たが凶作地帶として氣遣はれてゐた山間方部も先づ順調な結實振りを示しこの分で行けば免租申請の出る樣なこともあるまいと見られてゐる

。。。。。詐欺に判決

市內白銀町飮食店北鄕長藏郎（四七）にかかる手付金詐欺の公判は十一日平區で淺野裁判長、富澤檢事立會で開廷、求刑通り懲役十ケ月の判決を言渡された

。。。。。藥師へ武運祈願。

銃後々援週間最終日の今十一日平自動車用品商組合では組合員一同閼伽井嶽藥師に皇軍將士の武運祈願をこめた、本田平署長參加

秋まつり

玉川村住吉鎭座住吉神社の祭典を十三日執行、流鏑馬劍道大會、花火等がある

0

防空演習等で延期されてゐた飯野村北白土鄕社三島八幡神社の祭典は十、十一の兩日執行、宵祭りの昨夜は假裝行列や古典的な獅子舞ひに賑はつた、今十一日夜は神輿の渡御がある

。。。。。武道大會出場選手

既報來る二十日福島武德殿に擧行される本縣下武德分會對抗武道試合への平分會出場選手左の如し

△劍道四段大友能一（第三）同國谷兼廣（內鄕）同桐原英純（平）△柔道四段阿部文平（神谷）三段阿部克英（同）△弓道三段本間留五郎（好間）初段鈴木甚八（小名濱）同鈴木淺五郎（平）△柔劍術初段鈴木七郎（小名濱）

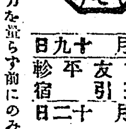
運動會の歸途荒す
惡運盡きた十五少年

去る六日深夜市內紺屋町果實店鈴木喜三郎方に賊侵入家人に騷がれて逃走したが逸早く平署に屆け出たので、なんなくふん捕まつた、犯人は市內四丁目某店雇人（一五）で追究の結果

昨年十月靜岡縣修善寺町硝子屋大戸安之助方の金錢登錄器より二圓五十錢を失敬した外其後路上で拾つた金五圓を横領

平へ來ても惡の性根を斷たず去る六日晝、第一小學校の運動會を見ての歸途ゴム風船行商の內鄕村小島木賃宿龜田イチ方止宿能代繁の十圓入り財布を盜んだのに味を占め同夜一と稼ぎに出たところ惡運盡きて御用となつたもの

十二日（小名濱測候所發表）
滿潮 前六、三五 後五、二五
干潮 前〇、〇〇 後一二、〇五



舊八月十九日　新十月十二日　水曜　丁丑　友引　平　軫宿

▲一白　己が力を量らず前にのみ進むときは失敗す▲二黑　投機的の事には成るべく手出せぬ樣すべし▲三碧　遠近同仁人を見ること我が身を見る如くせよ▲四綠　自己を信ずること過大なればしつ敗を招くべし▲五黃　金運あり武運あり自重せば更に大に用らる▲六白　目上の發へは吉けれど同れうに容れられぬ日▲七赤　出づるにばいしての利得あり何事も進みて吉▲八白　平凡に流るゝとも無事なるを結かうとすべし▲九紫　無二幸運の日文學上の事には成り分け吉し

おでん　たつた揚　やきとり
イッペイ　一平
電話二六三番

▼……出前迅速
御料理
むぎとろ
是非！御試食下さい
平市田町紅小路
さつき
電話四八八番

夜間診療
胃腸性病
內科　胃腸病科
花柳病科　性病科　皮膚科
專門
（看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）

靴は……履物界で一番の經濟品
亦文化生活の必要品
戰時活躍には先づ足をかためて……
定評有る……大塚の靴を！
◎男女學生靴
◎紳士靴　特賣
（從前通り牛皮製品在庫品豐富
注文品歡迎致します
靴修繕安く丈夫に
小學生　通學……運動には……
一番運動靴が經濟
つちや會社製
月星運動靴澤山有ります
靴と運動具
大塚
平市田町銀座通り
電話七十七番

謹啓故母柳子儀葬送の際は御繁忙中遠路御會葬被成下且つ御鄭重なる御香奠を賜はり御芳志の段誠に難有奉深謝候實は一々拜趨禮申上べき筈の處乍略儀紙上御禮申述度如斯御座候

十月十一日

平新川町十二番地

男　五十嵐清治
男　五十嵐雄二
外　親戚一同